

## 公共施設等感染防止対策



818万円

役場庁舎やコミュニティセンター等の町施設の感染防止対策のため、消毒用品やパーテーション、サーマルカメラなどの設置。

## 教育・子育て施設等感染防止対策



4,701万円

保育所・幼稚園・小中学校等の感染防止対策として空気清浄機や網戸、図書消毒器などの設置。

## 感染防止協力支援



3,274万円

県からの営業自粛に応じた事業者や、感染防止対策に協力した事業者に対し支援金を支給。

## 復興に向けた環境整備



4,418万円

「新しい生活様式」のための環境整備。ネットワーク環境整備やタブレットなど購入。

# コロナ対策に 多くの事業

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度は国から臨時に2億5千万円余りが交付され、活用されました。

## ばんげ応援商品券配布



7,938万円

町内の消費活動支援のため、町民一人につき5,000円分の商品券を配布。

## 原油高騰対策事業



8,849万円

原油高騰の対策として、町民一人につき5,000円分のガソリン・灯油券の配布。

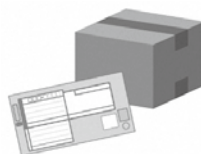
## 子育て世帯支援事業



290万円

対象者一人につき10万円の給付。

## 大学生等生活支援事業



2,011万円

町出身大学生等への生活支援のため、町産品送付。

# 一般会計決算討

## 論



令和3年度の決算では、実質収支3億8,121万9千円の黒字となりました。徴収率も97.37%と高い水準を維持しており、歳出では地区要望に対応した道路補修工事等の実施や、大雪の除雪対応も迅速に行なわれました。コロナ禍の中ではありますが、今後も適切な予算執行に努め、尽力される事を期待します。

**賛成**

渡部順子委員

固定資産税や教育費では、不適切事務処理がありました。チェック機能の確立、出納閉鎖期間内の不用額点検など適切な事務処理を切に要望いたします。

**反対**

佐藤宗太委員

歳入においては、自主財源の収入済額が前年度と比較して4億5,296万4千円増加となり、歳出においては各担当部署での交付金・補助金が的確に執行されたため、賛成する。

**賛成**

物江政博委員

概ね大過なく執行されたと評価し賛成する。新庁舎建設用地・土地購入費の執行について、何ら異論なく容認、賛成多数というお墨付きを得たので、決定の新庁舎位置に建設計画を進めるよう進言する。

**賛成**

五十嵐一夫委員

## 監査委員より



町長へ意見書を提出する仙波代表監査委員

仙波代表監査委員と青木監査委員により7月12日～22日にわたり決算審査が行われ、8月25日に町長に意見書が提出されました。

### 〈決算審査意見書より〉

厳しい人口減少、高齢化が進む中、財政の健全化に向けて、まずは収支の黒字確保のため収支均衡を第一とし、財政調整基金を確保・増加させ、将来財政

負担の軽減に努める必要があります。

歳入では地方税減収見通しや国・県の財政依存にも不透明さが大きいことから、地方税徴収率の維持をはじめ、ふるさと納税やあらゆる歳入確保拡大の検討が必要です。

歳出は起債の抑制はもとより、補助金及び負担金の厳正なチェック、委託料の適正化、人件費の抑制・削減や更なる事務事業の見直しが必要です。

さらに、ミスや問題点を全職員が共有と共通認識を持つて対処するなど、他、若手職員を中心として既成概念にとらわれない研修・改善改革が必要と思料されます。

最後に財政再建は短期的に問題解決が望めるものでなく、引き続き長期的に進める必要があり、財政再建に向けたあらゆる施策・手法を慎重且つ、大胆に見極めて実行されることを期待します。

また、厳しい財政の中にあっても行財政運営にあたっては、最大限の工夫をもって町民満足度と財政再建の両立を図っていくことが不可欠です。両者の均衡を図りながら町民に不安を与えない行財政運営を希望します。

令和4年度  
第3回定例会

第3回定例会では、決算の他町長報告4件、人事案件1件、条例2件、その他2件、補正予算7件が提出され、全て可決・同意されました。

また、最終日には委員会をオンラインで開催できるようにするための、委員会条例の改正など、議員提出議案2件が追加提出され、可決されました。

補正予算では、寄付金を活用した教育用品等の購入、幼稚園保育所等におけるICT環境の整備、燃料価格の高騰に対応するための補正、原油価格や物価高騰による生活困窮者世帯に対する支援などが計上されました。

## 補正予算

会計		補正額	補正後の額	主な補正内容
一般会計（第4号）		2億3,426万6千円増	81億6,705万7千円	
特別会計	国民健康保険（第2号）	7千円減	17億7,037万9千円	本算定・繰越金の確定によるもの
	介護保険（第2号）	5,225万8千円増	24億2,451万4千円	本算定・繰越金の確定によるもの 10月からの職員採用によるもの
	後期高齢者医療（第1号）	795万8千円減	1億9,224万8千円	本算定・繰越金の確定によるもの
	下水道事業（第1号）	624万8千円増	5億4,594万8千円	確定申告による消費税の確定、 電気料高騰によるもの
	農業集落排水事業（第2号）	115万円減	6,586万円	確定申告による消費税の確定、 電気料高騰によるもの
企業会計	水道事業（第2号） 収益的支出	101万1千円増	4億8,737万4千円	電気料高騰によるもの

### 地区と協議し電気柵を設置

**議員** 野生鳥獣被害防止地域づくり事業補助金については、電気柵設置の補助金であるが、今後の方針は。

**課長** 県からの補助金でありますが、地区ごとに県と町と地区の方とで協議をし、設置を進めていきます。

### 1分団25万円ずつ交付

**議員** 消防費の消防団施設整備は。交付金を増額した詳細

**課長** 消防団や区長からの要望により、分団の運営に係る消耗品や修繕費にあてるため、1分団25万円を増額しました。また、ポンプ操作大会に参加するためにかかる費用として、参加する分団にはさらに10万円を交付します。

# 請願・陳情の結果

只見線が地域に活力を与えるような列車運行をめざし、JR 東日本により良いダイヤ改正を求める請願

提出者 山内幸裕  
紹介議員 五十嵐一夫  
内 容

10月1日に只見線全線開通となった。観光客のニーズ、通学など生活路線としての地域の利用促進を考慮したダイヤ改正について、JR 東日本との協議をもとめる。

本会議で採択され、意見書を福島県と福島県議会に送付しました。

「会津坂下町議会議員政治倫理条例の制定」に関する陳情書

提出者 江川和弥  
内 容

議会議員と町民とのゆるぎない信頼関係構築のため、速やかに議会議員政治倫理条例の制定を求める。

継続審査となり、協議を続けます。

# 新しい 教育委員会委員さんが 決まりました

氏名 蓮沼 潤一氏  
住所 金上在住  
任期 令和4年10月1日～  
令和8年9月30日



賛成全員で同意されました。

※教育委員会委員とは、人格が高潔で教育や学術、文化に関して識見を有する者のうちから、町長が議会の同意を得て任命します。

## 議案第59号 権利の放棄について

6月30日をもって解散した株式会社津ばんげ公共サービスの清算に要する経費に充当するため、出資した2,000万円のうち、300万円を放棄したいというもの

### 反対

山口 享 議員

株式会社津ばんげ公共サービスの会社解散に伴う清算経費に充当するための資本金である株式の放棄を、町だけが負担するということは株主平等の原則からも株主の権利と責任からも、到底納得することはできません。反対いたします。

## 私はこう判断！

賛否の別れた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地	横山智代	渡部正司	佐藤宗太	山口享	青木美貴子	渡部順子	五十嵐一夫	酒井育子	小畑博司	水野孝一
議案第59号 権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
議案第62号 令和3年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議長
上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません														